

公園で見られる花 (ユニコードテキスト)

花の開花シーズンは、5月中旬から6月中旬にかけて多年草のキジムシロ（学名：Potentilla fragarioides var. major）が黄色い花を咲かせる時期に始まります。キジムシロの小さな花（直径2 cm ほど）は、5つの丸い花びらがあり、地表近くに広がって咲きます。ハマニガナ（Ixeris repens）の花と、大きさや高さ、色は似ていますが、ハマニガナは細く尖った花びらがあり、6月下旬までは花を咲かせません。

ハマナス（Rosa rugosa）の開花時期は、6月下旬から8月下旬と最も長く、通常濃いピンク色をした、直径10 cm ほどの大きな花を咲かせます。ハマナスの低木は、日本の東北地方、中国、韓国、シベリア南東部の沿岸の砂地に自生します。

7月には、日本や中国、ロシア原産の、ユリのような美しい花が、草原の中で高く咲き誇ります。黄色い花を咲かせるエゾカンゾウ（Hemerocallis esculenta）と、オレンジ色のエゾスカシユリ（Lilium pensylvanicum）です。

様々な種類のエゾカワラナデシコ（Dianthus superbus L. var. superbus）や、海浜植物であるハマヒルガオ（Calystegia soldanella）が7月下旬に開花し始め、花の季節は8月に終わります。